燃料及び石油化学製品の高騰等の影響・動向

参考資料１

➢ **中東情勢の緊迫化を踏まえ、道内関係団体及び市町村に対し、価格及び供給量の変動による影響等に関するヒアリング・調査を実施。**（6月17日から6月26日の間で実施）

石油化学製品の供給制限や欠品などの声は引き続き寄せられている一方、一部製品では供給再開などの動きも見られる。また、コスト上昇による資金繰りの悪化や資材不足による受注停止など、事業継続への懸念の声が増えている。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
道民生活	◎日常生活で使用するほとんどの製品が石油化学製品であり、今後のさらなる価格への影響が懸念されるほか、品不足への不安感から自治体指定のゴミ袋が買い占められるなど、道民生活への影響は大きい。 ■全産業に影響を与えることにより一層の値上げラッシュが想定されるとともに、長期化した場合、冬期の灯油供給に不安がある。一部の商品の包装が白黒となるなどの報道があり、消費者としては大きな不安がある。
経済団体	◎価格の上昇は落ち着いてきているものの、高止まりの状態。そのため、仕入れコスト増加の一因となっている。オイル製品及び石油化学製品の一部供給再開。 ■材料費・燃料費上昇分の価格転嫁により節約志向が高まり、景気の減速につながる恐れ。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
農業	◎飼料・肥料の調達に直ちに影響はないものの、飼料原料は上昇傾向。 ホクレンの令和8肥料年度の化学肥料について、平均で24.7%の値上げ。 ■燃料・生産資材の価格上昇や供給制約による営農活動への影響が懸念。
林業	◎燃料や苗木生産資材などの価格高騰に加え、事業活動に必要な油脂類など資材の不足。 ■燃料や資材の価格高騰や資材の供給制限による、事業活動への影響や経営圧迫を懸念。
漁業	◎漁業用燃料・資材類の価格は高騰し、高止まり。資材類は在庫不足により一部において納期遅れや納期未定が発生。 ■燃料や資材、物流費の価格上昇による漁業活動等への影響や、漁協や漁業者の経営圧迫を懸念。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
土木工事	◎アスファルトの価格が依然として高止まりしており、一部資材（燃料、シンナー、塗料等）で価格上昇が顕著。また、塩ビ管などで供給制限や納期遅延が発生。 ■資材価格の高止まりや供給制限が長期化した場合、経営への影響のほか、工期の遅延や受注判断への影響が懸念。
民間住宅工事	◎塗料、接着剤、断熱材、塩ビ管、ユニットバスなど多くの建設資材・住宅設備で発生していた受注制限や出荷停止などは、状況の改善は見られるものの依然として納期は遅延。資材不足から工事依頼の受け控えなども見られる。また、資材の値上げによる増額分を顧客に転嫁するのは困難な状況。 ■事業者は、値上げによる収益の圧迫や資金繰りの悪化を懸念しており、倒産の不安もあり。
建築工事	◎塗料、接着剤、配管材や電線ケーブルの被覆材料など多くの石油化学製品類で価格高騰が続いており、出荷制限や品不足が発生。 ■資材の納期遅延や価格高騰の状況が長期化した場合、企業収益圧迫のほか、工期の遅延や受注判断への影響が懸念。
食料品製造	◎フィルムやトレーなど包装関連資材の価格が高騰するとともに、一部ビニール袋や梱包材の入荷が停止。ニトリルグローブの在庫がなくなり出荷されない事例があるという状況に変わりはない。 ■包装関連資材の価格上昇による価格転嫁をした場合の消費者の買い控えを懸念している状況に変わりはない。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
木材・木製品製造	◎燃料や梱包資材などの価格高騰に加え、製品の生産に必要な油脂類や接着剤など資材の不足。 ■燃料や資材の価格高騰や資材の供給制限による、事業活動への影響や経営圧迫を懸念。
印刷関連	◎用紙・インキ・版材等、各メーカーから15～20%以上の価格改定が通知されているが、現状で供給は不足していない。 ■顧客に対する価格転嫁に理解を求めることが困難である予測される。
医療機器・医薬品製造	◎医薬品容器、ビニール袋や緩衝剤など一部の衛生材料、包装資材等が供給制限や中止で入手困難となってきており、代替品で対応しているものもある。 ■今後更なる値上げや出荷停止が予測される。
樹脂加工	◎原材料（樹脂ペレット、エチレン）・資材・石油製品の価格が高騰している。特に、シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が、品薄、価格高騰している。 ■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念される。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
鉄鋼	◎特に、鉄の圧延や切削加工で使用する機械の油類が高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格高騰。 ■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念される。
金属加工	◎特に、金属成型後の浸炭焼入れの工程で使用する油類が高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格高騰。 ■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念される。
機械加工	◎特に、加工機械の潤滑油などが高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格高騰。 ■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念される。
自動車部品製造業	◎特に、製造機械の潤滑油や切削油のほか、製造工程にある浸炭焼入れ（鋼材強化のための熱処理）の工程で使用する油類が高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格高騰。 ■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念される。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
エネルギー関係	◎電気・ガス料金は、今年3月以降の原油等の価格上昇が反映されたものの、国による支援により、8月分は前月より下降。供給面では大きな影響はない。 ■電気・ガス料金は、国による支援が実施される期間において、料金負担が一定程度軽減される見込み。供給面への影響については、引き続き状況を注視。
運輸	◎価格は高止まりのまま、一部事業者で自社燃料貯蔵施設への配送を断られる状況は継続。エンジンオイル、尿素水や梱包資材等の石油関連製品は価格が上昇しており、一部受注停止や供給停止を受けるなど品不足の状況は依然として厳しい。 ■価格上昇による経営悪化や供給停止による運行停止など、道民はもとより、観光客なども利用するバスやタクシー、物流を担うトラックなどの運行が困難となる恐れ。車両整備に関する資材の価格上昇、供給不足が出ており、安全管理等に不安。
飲食料品卸売・小売	◎状況に特段の変更はない。同じような状況が続いている。包装資材値上げによる納品価格値上げの連絡も続いている。 ■小売業の包装材料の値上げの影響や供給不安が、今後出てくることが予想され、商品価格の上昇に伴う、消費者の買い控えを懸念している状況に変わりはない。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
宿泊	◎電気・ガス・ボイラー用重油価格が高止まり。リネン洗濯代やプラスチック製アメニティ代の断続的な値上げ。また、各種資材の注文から納品までのリードタイムが以前より長くなる傾向。 ■航空運賃の高止まりによるインバウンドを含む来道客の減少、修繕用資材の高騰や納期への影響を懸念。
医療	◎ガウン等の衛生資材について、納品までに時間を要し、不足する傾向。 ■衛生材料や麻酔薬等の医薬品の欠品、流通停止により、今後の医療提供体制に影響が出てくる恐れ。
金融	◎原油価格高騰に伴う運転資金の相談は、引き続き多く寄せられている状況。 ■長期化するようであれば、今後も相談が多く寄せられることを想定。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
市町村	◎7割を超える市町村で、燃料の契約単価の改定や入札不落、業者から供給制限の可能性の打診、供給日の遅れ等が発生。また、建築資材や医療・介護資材、指定ゴミ袋等の調達にも影響あり。前回調査（5/21時点）に比べ、影響ありと回答した市町村が微増。 ■9割を超える市町村で、価格上昇に伴う予算不足や入札不落、供給の不安定化に伴う事業の遅延や公共施設等の維持管理への影響を懸念。
北海道	◎燃料単価契約における契約変更件数の増加が鈍化。医療用等資機材の価格上昇や供給不安定に加え、新たにテープ類や工事資材などの分野で価格上昇の影響。 ■長期化した場合、調達価格の上昇に伴う財政負担の増加や、供給不足に伴う事業の遅延等への影響を懸念。